学校番号	1011

令和８年度　(専)家庭科

教科	(専)家庭	科目	(学)発達と保育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「子どもの発達と保育」　(実教出版)						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、保育を担うために必要な基礎的な資質・能力を伸ばすことを目指します。また、それらに係る技能を身に付ける活動を行います。

・年間２回、地域のこども園と連携し、実際に子供と触れ合う学習も行います。授業で学んだ子供の発達、保育の方法、保育環境の整備、子供の遊びなどについて見学、実践、工夫する機会があります。実習後にはレポートを記入します。

・授業ではプリントを使用します。

・授業のプリントについては、板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントで気付いたこと、自身で考えたこと、クラスメイトの発言などから考えたことについてノートの枠外に記入していきましょう。また、自身で調べ、考えた事柄についても枠外に記入していきましょう。

2　学習の到達目標

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、保育を担うために必要な基礎的な資質・能力を次の通りに育成することをめざす。

(１)保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴および子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。

(２)子供を取り巻く課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。

(３)子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ共同的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	子供の健やかな発達を促すための保育の必要性と意義や具体的な保育の方法、子供の発達の概念や発達過程と生活の特徴、児童福祉の制度や子供の遊びと表現活動などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	子供の発達や生活の特徴を踏まえた上で、子供一人一人の発達に適した保育環境を整えることの重要性について思考を深め、課題を発見する力を身に付けている。 保育を担う意義を理解し、子供の健やかな発達を促すための保育について考え、よりよい保育を想像し課題を解決する力を身に付けている。	子供の健やかな発達を促す保育について考え、よりよい保育を創造し課題の解決に主体的に取り組むとともに、保育に必要な知識と技術を進んで習得し、習得した知識や技術を活用しようとするとともに、主体的に学び続けようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	子供の保育	1. 保育の意義 2. 保育の方法 3. 保育の環境 4. 保育実習	a:保育の意義と方法、保育の環境の特徴と役割について理解している。 b:子供の心身の状態や発達に応じた保育の方法とその環境について課題を発見し、その解決する力に向けて考察する力を身に付けている。 発達時期の特性を考慮した保育について考察する力を身に付けている。 c:様々な人と協働して、子供の保育の方法や保育の環境について自ら主体的に学ぼうとしている。	定期考査 ワークシート 提出ファイル	定期考査 ワークシート 提出ファイル レポート 保育実習	提出ファイル レポート 保育実習

1・2学期	子供の発達	1. 子供の発達の特性 2. 乳幼児の発達 3. 幼児期の発達 4. 保育実習	a: 発達の特性や過程を体系的に理解するとともに、子供の発達には順序性や連続性、個人差があることを理解している。また、「愛着」の発達がその後の発達に影響を与えることを理解する。 b:乳幼児期の子供の健全な心身の発達について課題を発見し、その解決に向けて考察する力を身に付けている。 c: 様々な人と協働し、子供の発達について自ら学び、主体的に学ぼうとしている。 また、発達の特徴を踏まえて活動の充実が図れるような環境についてどのように工夫するか考えようとしている。	定期考査 ワークシート 提出ファイル	定期考査 ワークシート 提出ファイル レポート 保育実習	提出ファイル レポート 保育実習
2学期	子供の生活と養護	1. 乳幼児の生活の特徴と養護 2. 生活習慣の形成 3. 健康管理と事故防止	a:子供の睡眠、食事、遊び、健康管理、被服について学ぶことを通して、生活と養護について理解し、適切な生活習慣の形成や健康と安全管理に関する保育の技術を身に付けている。 b:子供の食事、衣服の着脱、睡眠、排せつ、清潔などを学ぶことを通して、子供の発達に即した適切な習慣形成について考察することができている。 c: 様々な人と協働し、子供の生活と養護について自ら主体的に学ぼうとしている。	定期考査 ワークシート 提出ファイル	定期考査 ワークシート 提出ファイル	提出ファイル

3学期	子供の福祉	1. 児童観の変遷 2. 児童福祉の理念と関係法規・制度 3. 子供の福祉お支える場	a:児童観の変遷や児童福祉の理念や制度、子供の福祉を支える様々な施設の役割について理解している。 b:保育園、認定こども園、児童家庭支援センターなどの子供の福祉を支える場の役割について課題を発見し、その解決に向けて考察することができている。 c: 様々な人と協働し、子供の福祉について自ら主体的に学ぼうとしている。	定期考査 ワークシート 提出ファイル 保育実習	定期考査 ワークシート 提出ファイル 保育実習	提出ファイル 保育実習
	子供の文化	1. 子供の文化の意義 2. 子供の遊びと表現活動 3. 子供の文化を支える場	a:遊びや歌、言葉などの子供の文化や遊びの意義と重要性及び遊びの種類と発達との関わり、遊びと遊具の関わりについて理解し、関連する技術を身に付けている。 b:子供の健やかな発達を促す遊びや表現活動について課題を発見し、その解決に向けて考察することができている。 c: 様々な人と協働し、子供の文化について自ら主体的に学ぼうとしている。	定期考査 ワークシート 提出ファイル 保育実習 名札・ぬいぐるみ制作	定期考査 ワークシート 提出ファイル 保育実習 名札・ぬいぐるみ制作	提出ファイル 保育実習 名札・ぬいぐるみ制作

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度